

教師の学びは痛みを伴いながら

2024・3・6 重枝 一郎

新高校3年保護者対象進路説明会にて

みなさんこんにちは 校長の重枝です。

まずは、進路関係の話の時、いつも話していることですが、それは、生徒のキャリア形成をする上での大切な2つのキーワードについてです。この2つとは「情報」と「行動」です。

今の時代、「情報」は、みなさんに平等に大量にあり、情報の海におぼれるくらいです。私の時代は、この「情報」については差がありました。知っている人は知っていたり、具体的に何も知らない感じで学校の何となくのイメージだけで大学入試を受けたりすることもありました。つまり一昔前は「団体軸（その組織に所属することで価値を見出す）」の時代だったということです。今はそうではなく「個人軸（個人として価値を見出す）」の時代になっているのです。

話を戻します。今の時代、この「情報」は誰でも瞬時に、大量に手にすることができます。ということは、キャリア形成において差がつくのは、「行動」の方ということになります。

この「行動」は「大きな行動」と「小さな行動」があり、「大きな行動」は誰もが経験することができる学校行事やテスト、入試などを言います。つまり、これも誰もが経験するので差がつかないということになります。差がつくのは「小さな行動」の方です。これは日常の積み重ねで、わからないことは聞いたり、自分の考えを伝えたり、この「小さな行動」によって、「自分だけの情報」を手に入れて、それをもとに大量の「情報」にアクセスすることが大切であるということなのです。また、これは生徒にとっての自立のプロセスになります。いろんな先生たちと対話してください。そうすれば、情報の海におぼれません。

さて、今日は高校3年生という進路決定の最終学年のマインドをつくる場にすることが大事です。

ある生徒の話をしてします。

『生徒 A さんは、休み時間も数学や理科をよく勉強する、学校でも成績トップの生徒でした。しかし A さんの保護者は経済的な理由から A さんの進学には前向きではありませんでした。当然担任は、奨学金制度を紹介し、いろんな大学の情報を伝え進学意欲を高めようとしていました。そのたび A さんは「大学に行けたらいいですね」と自分の意思をあいまいにした言葉を口にしていました。きっと一生懸命に話す担任を失望させたくなかったのかもしれませんが、担任も A さんの気持ちの整理を待ち、決定を先に延ばしていました。進学という選択肢が消えないようにしていたのかもしれませんが。』

3年次の7月の三者面談で、A さんはついに「勉強は好きだけど、きょうだいも多いので就職します」と明言しました。A さんの隣に座る母親の傍らには小さな妹がいました。数日後、A さんは担任に地元の大手企業の求人票を見せ、自分の気持ちに踏ん切りをつけるように「ここでいいです」と言った。担任は「わかった」としか返せませんでした。そこからは就職試験の勉強に切り替え、秋口に就職の内定を獲得しました。でも A さんは、就職が決まった後、センター試験受験者の補習にも自ら希望して参加してい

ました。

その数年後、担任は A さんのことが気になり職場に訪問したそうです。生き生きと働く A さんと会うことができました。A さんは「がんばっています」と元気に言い、担任に「先生いろいろありがとうございました」と。でも担任は、自分の進路指導を振り返って、これでよかったのか、仕方がなかったのか・・・当時 A さんが進学を断念して「ここでいいです」と言った時の何とも言えない表情が忘れられないと私に話しました。』

私はこの担任の先生に2つのことを話しました。

『1つは、確かに家庭の事情も知った上で話すことになるのですが、担任の先生が生徒の視野を広げる、目標を上げる話をするのは大事なことです。しかし、最終的には「自分で決める」ことをさせているから大丈夫ですよ。

もう一つは、自分の思いを伝えることは大切ですが、A さん親子の思いに耳を傾けることをどれくらいやったかということをご自己点検してください。また、担任だから自分一人で何とかしようとして、学年団のチームで A さんに向き合っていたかということも振り返ってください。この2つをこれからの教師生活に活かしてください。そして最後に「私たち教師の学びは痛みを伴いながらですね」と。』

これは私たち教師に向けての話なのですが、保護者のみなさんにも置きかえることができると思います。

最後に、お子様に伝えていただきたいのですが。

「ピア・エフェクト」という言葉があります。同じクラスや学年の友だちの学力から受ける影響という意味です。一般的に、学習をよくする友だちの中にいると、自分の学力にもプラスの影響があるという科学的根拠のことです。もちろん、反対に、授業妨害する生徒から受けるピア・エフェクトもあります。当然負の影響を受けるという因果関係です。成績以上に生活行動が負の影響を受けるというデータがあります。先生たちが「受験は団体戦」とよく言います。それは、背景にそういった科学的根拠があるからです。

だから、保護者の皆様と力を合わせて最後までがんばっていきたい！

よろしくお願いします。

校長の話とします。